



宮古市立田老第一小学校 5年（受賞時）

山本 謙志郎さん

読書感想文を書いてみる前のぼくは、「ただ本を読んで、文を書くだけのもの」と思っていました。だから、本を読み進めるときも話の筋を追うようにしか読んでいなかったし、読んだ後も「ああ、おもしろかった」くらいの感想しかもっていませんでした。

今年には読書感想文を書くという目的をもって本を読むことに何度か挑戦しました。すると、一度読んだだけでは読み深められない事に気づきました。何度か読み返すうちに、さっきは気づけなかった主人公の思いや、主人公が変わっていくきっかけとなった事から等が見えてきて、読書することの楽しさがふくら

第76回冬休み良書推薦運動読書感想文コンクール
最優秀賞 感想発表

「受賞を振り返って」

んでいくのがわかりました。

また、感想文にまとめる時は、物語の主人公についてや、本のテーマについて先生と一緒に話し合いました。僕が今回、読んだ本は岩手が舞台となっている物語でした。心も体も岩手が育てたと言える真が、都会で傷つくだけ傷ついた順矢と関わり、彼の心を溶かしていつていること、そして、岩手の自然が弱り切った順矢の体を元気にしていつていることがはつきりと見えてきました。また、ぼくの故郷、岩手の素晴らしさに改めて気づくことができ、この本に出会えたことに感謝したいと思いました。

更に、こんな素晴らしい賞までいただけるなんて思ってもみなかったのが、本当にうれしかったです。ありがとうございます。

これからも、たくさん本を読み、読書感想文に挑戦したいと思っています。そして、自分の考えを深めたりまとめた

りする力をつけていきたいと思っています。